

ふれあいとおもいやりのあるまち

おやま

こころとこころで向き合っていますか!

身近なところから考えてみましょう



平成 29 年度 いじめゼロ子どもサミットの様子

いじめをなくすために、市内各
小・中・義務教育学校の代表児童・生徒が一同に
会し、『いじめゼロ子どもサミット』が開催されている
ことをご存じかな？
今年度は、「よりよい友だち関係をつくる」をテーマに、
「いじめを生まないコミュニケーション=自分も相手も
大切に自己表現」について考えたのじゃ！
みな真剣に話し合っているのう！



じんけん博士

小 山 市
小 山 市 教 育 委 員 会

いじめゼロ子どもサミット

いじめゼロ子どもサミットは、平成25年度から実施しています。
 小山市の全小・中・義務教育学校の代表児童・生徒が参加し、いじめのない学校にするために、「よりよい友だち関係をつくるためのコミュニケーション=自分も相手も大切に自己表現」について考えました。



「よりよい友だち関係をつくるためのコミュニケーション=自分も相手も大切に自己表現」とは？
 自分の思いや考えをしっかりと伝えることと、相手の話もよく聴くことかな？



攻撃的自己表現でも非主張的自己表現でもない表現→自分も相手も大切に自己表現
 =「アサーティブな表現」で考えてみよう！
 お互いを尊重した表現！さあ、どうなるかな？

生徒たちがリーダーシップを発揮して児童たちをリードしてくれたので、活発な話し合いが展開されました。

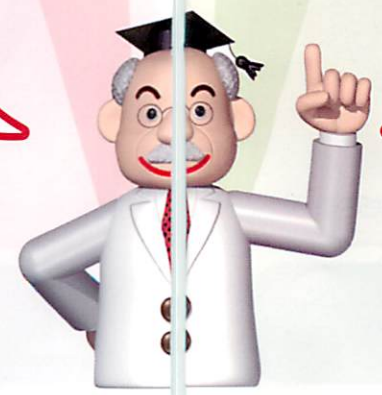


グループで話し合ったことを付箋紙に書いて貼り付け、分かりやすくまとめて発表しました！
 少し緊張したな！



最後に、これまでの活動や話し合いをもとにして、各自が意見や考えをまとめ、いじめをなくすための「決意表明」を行いました。

左の宣言は「おやまっ子いじめゼロ宣言」じゃ！
 ご覧になられたことはあるかな？
 「いじめゼロ子どもサミット」では、この宣言内容を指針としていじめをなくすための取組について考え、各校に持ち帰ってそれぞれの学校での活動に生かしているそうじゃ！
 子どもたちも、がんばっておるのう！



右の宣言は、「おやまのよい子を育てる大人宣言」じゃ！「子は親の鏡」と昔の人は言ったものじゃが、今一度、親として、また地域の大人として、この言葉の意味を噛みしめる時ではなかるうか？
 「子どもの社会は、大人の社会の縮図である」といわれることもある。
 大人たちの役割と責任！重大じゃな！

小山市いじめ等防止市民会議

◇小山市いじめ等防止市民会議は、子どもたちの日常生活で生じた「いじめ」等を未然に防ぐとともに、「いじめの撲滅」を目指すものです。
 ◇子どもの社会は大人の社会を映しているという考えから、子どもの笑顔があふれる小山市を目指し、各種関係機関や学識経験者などの幅広い層が参画し、目的を達成するために設置された会議です。
 ◇5年目となる今年度のテーマは、「子どもとコミュニケーション～現代社会のコミュニケーションの在り方～」でした。

「地域の中でのコミュニケーション」
 地域の活動や行事に参加して、子どもたちと積極的に関わりをもつようにしたい！



「家庭の中でのコミュニケーション」
 個室、個室など、「個」の子どもが多いのが心配です！家庭内でのコミュニケーションが、最も大切です！



各グループの発表の様子！
 子どもたちへの関わり方について、多くの建設的な意見が出されました！



「子どもを取り巻く言語環境」
 正しい日本語と言葉遣いを学ばせたい！

「市民への発信」
 地域の活動や行事に積極的に参加して、世代を超えた交流や子どもたちとの関わりを大切にしたい。



おやまのよい子を育てる大人宣言2013～
 子どもの社会は、大人の社会を映しています。時代や環境が変わっても本質に大切なものは変わることなく存在します。その大切なものを私たち大人が、私たち自身の「背中」で伝えていかなければなりません。子どもの笑顔があふれる小山市を目指して、家庭、学校、地域それぞれの場で協働と創意をもって行動します。ここに決意を表明し、宣言します。

- 一 私たち大人は、地域のイベントに連なって参加し、子どもと一緒にたのび遊び、信頼を築き、学び合います
- 一 私たち大人は、子どものよいところを見つけ、声をかけて褒め、悪いことに気付いたら迷わず注意します
- 一 私たち大人は、人の失敗を悪く言ったり、あざわらったりせず、励まし、助け合います
- 一 私たち大人は、子どもが本音で話し合える時間をつくり、安心できる家庭にします
- 一 私たち大人は、互いにだめなものはダメと言え、大人の社会を築きます

平成25年11月11日
 小山市いじめ等防止市民会議

おやまっ子 いじめゼロ宣言

いじめという絶対に許されない行為に、私たち自らの力で立ち向かい、私たち自らの手で、いじめのない、そしてみんなが夢や希望をもって生活できる学校づくりをするために、次のことを、私たち自身の言葉で宣言します。

1. 相手のことを考え、困っていたり、悩んでいた人を見逃しません
2. 元気がない友達に声をかけ、進んで助ける優しさ、一歩踏み出す勇気を持ちます
3. 一人一人のよい所をたくさん見つけ、誰もが仲間であるという気持ちをも大切にします
4. 「おはよう、ごめんね、ありがとう」心を込めて伝えます
5. お互いに助け合い、はげまし合い、みんなが笑顔で過ごせる学校にします

平成25年5月28日
 小山市いじめゼロ子どもサミット

第39回人権講演会から

講師 村上 新悟 氏

“役者は『生涯修業』”



平成29年8月21日(月)
於/小山市立文化センター

第1部

今年度の人権講演会は、2部構成で行われました。まずはじめに、講師としてお招きしました小山市出身の俳優村上新悟氏の出身校である、小山工業高等専門学校ハンドベル部の皆様のオープニング演奏により、開会されました。

その後、村上新悟氏の“小山評定ふるさと大使”委嘱状交付式を経て、「栃木県人権に関する作文コンクール中学生入賞者による作文の朗読」と「高校生人権映像作品コンクール入賞作品放映」、そして「小山市いじめ等防止市民会議委員の皆様による報告」などが行われました。

第2部

第2部では、俳優の村上新悟氏をお招きし、NHK宇都宮放送局のアナウンサーとして活躍されている磯野佑子氏を進行役にトークショー形式での人権講演会が行われました。ここでは、その講演の一部をご紹介します。

講演会前半は、磯野アナウンサーの軽快な進行のもと、村上氏の“ひと”についての質問と回答に、会場内では和やかで楽しい時間が過ぎていきました。村上氏は、旭小、小山城南中、小山高専を卒業。会場には、中学、高専時代の担任の先生方も駆けつけて、トークに加わっていただきました。少年期の村上氏は、活発で行動的な一面と物事を冷めた目で少し斜めに見るような一面とを併せ持っていたそうです。

講演会も後半に入り「俳優 村上新悟」としてのお話を中心になると、和やかな雰囲気の中にも厳しさや真剣さが顔をのぞかせました。村上氏は、2001年からの15年間、俳優の仲代達矢氏が主宰する「無名塾」に所属され、苦学しながら役者としての心構えや演技の基礎を学んでいったそうです。そして2年前、40歳で、一役者として勝負をかけようと無名塾を退塾されました。翌、2016年のNHK大河ドラマ「真田丸」では、戦国時代の武将として人気の高い直江兼続役を好演して注目され、その知名度も全国区となりました。村上氏は、「役者の醍醐味は、経験できない人生を送れること。俳優という仕事を通して、自分自身を見直し、再発見できることもある。」と説明。講演の終末には、村上氏が谷川俊太郎氏の詩『生きる』と『おやま子 いじめゼロ宣言』を朗読され、「人権とは、人間が人間らしく生きるために、無条件に与えられている権利だと思う。だとすると、人間って何だろう?と考える。～人間とは何か?～その答えを見つけるためにも俳優を続けていきたい。それが『生涯修業』だと思っている」と話されました。
(人権講演会講話内容からリーフレット用にまとめたものです)

2017(平成29)年12月発行



小山市役所人権推進課
☎0285-22-9292
小山市教育委員会生涯学習課
☎0285-22-9663

人権相談

毎月第2金曜日(予約不要)午前10時～

午後3時

小山市役所内(場所は人権推進課にお問い合わせください。)

ホームページ「小山人権の扉」

URL <http://www.oyama-tcg.ed.jp/~jinken/>